

江戸川区立小中学校における名簿を男女混合名簿にするよう求める陳情

(文教委員会付託)

受理番号 第 45 号

受理年月日 令和 2 年 6 月 1 1 日

付託年月日 令和 2 年 6 月 2 5 日

陳情者
.

陳情原文 江戸川区では、性的マイノリティに関する施策について、勉強会などを実施しており、本年 5 月 17 日の I D A H O (国際反ホモフォビア&反トランスフォビアの日、日本名：多様な性に Y E S ! の日) から約 1 週間、タワーホール船堀が「性の多様性」を象徴するレインボーカラーにライトアップされ、一部報道などでも大きく取り上げられました。また、「江戸川区男女共同参画推進計画」では『男女が平等で、互いに尊重し、喜びも責任も分かち合い、家庭、職場、学校、地域などのあらゆる分野において、性別にとらわれることなく、その能力と個性を發揮できる地域社会』を将来のあるべき姿として目指しております。

しかし、残念ながら江戸川区の学校では、性別にとらわれたまま、当たり前のように男女別の名簿が使われ続けております。それは L G B T 含む性的マイノリティのなかでも、とりわけ性別違和をもつ生徒やトランスジェンダーの生徒にとっては大きな精神的苦痛を伴うものであると同時に、先に記した江戸川区男女共同参画推進計画や、江戸川区で推進している S D G s が掲げる目標 5 のジェンダー平等の実現にもそぐわないものと考えます。

私は江戸川区の高校生です。男性として生活をしていますが、残念ながら戸籍の性別は女性のままです。性別違和を覚えたのは中学入学前です。与えられた制服をみて私は愕然としました。自分は学ランを着るものだと思っていたからです。スカート姿の自分をみて、より愕然としました。こんな格好で学校に通うのは、恥さらし以外のなにものでもないと感じました。学校生活において無意味に男女で分けられることが多く、そのたびに、自分の存在を否定されているようで、消えてしまいたいと思うこともありました。今回、コロナ対策の一環として、男女別の分散登校が実施されたことにより、私と同じ境遇の後輩たちが苦しんでいます。助けてください。今後、江戸川区で育つ子どもたちにジェンダーの違いによって、私と同じ苦しい想いをさせないよう、下記のとおり陳情いたします。

記

男女混合名簿を教育委員会として導入してください。